

|       |         |
|-------|---------|
| 部 長   | 鈴木 和 弘  |
|       | 森 川 美千代 |
| 研究主任  | 真 野 隆 行 |
| 部 員 数 | 2 5 名   |

## 1 研究主題

SDGs を学び生かす 総合的な学習の時間の創造

## 2 はじめに

令和2年4月より各教科を始めとする学校全体の教育活動を通して「キャリアパスポート」の運用が始まった。小牧市内の小中学校では、「総合的な学習の時間」に、よりよく問題を解決する資質や能力を育てるため、各校で独自のカリキュラムを作成し実践を積み重ねてきた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、行われていなかった「職業人体験学習」が元に戻りつつある。さらに、令和3年度に小牧市は「SDGs 未来都市」に選定され、本サークルではSDGsを学び、理解を深め、生活に生かすための取り組みや、事業の模索、事前・事後指導をどのように行っているかなどを、小・中学校部会に分かれて研究してきた。

## 3 研究経過

小学校部会・中学校部会に分かれて研究を行っている。各部会の中で、月ごとに検討するテーマを設定し、各校での取り組みや成果、課題などの意見交換を行った。意見交換の際、実際に使用した指導案や提案文書、子どもに配布した資料を持ち寄るようにした。また、持ち寄った資料は、データでも共有できるよう、交換箱内にフォルダを作り、蓄積できるようにした。

## 4 研究の概要

### (1) 小学校部会

小学校部会では、SDGsに関わる各校の実践報告・情報交換を中心に行った。報告では、各校の地域の特色や地域の方の協力を得ながら、施設見学や体験学習を通して充実した活動ができたとの話が聞かれた。また、実践に対するまとめや評価の方法を話し合う中から、ICT機器の活用法など、子どもたちの実態に沿った手立てはどのようなものかを考えた。

### (2) 中学校部会

SDGsに関わる各校の取り組みや実践報告・情報交換を行った。SDGsについて、導入から理解を深めるまでの体験活動や修学旅行先での講話、学校でのコンセンサスの授業などを行ったと報告された。また、各学年の発達段階に見合った活動をどのように進めていくのか、生徒にとって有意義なものになるよう、今後の取り組みについて情報共有を図った。

## 5 成果と今後の課題

### (1) 小学校部会

SDG sを意識することで、子どもたちは自分たちの生活が環境や人権などと深くつながっていることに気づき、意欲的に活動に取り組めるようになったと言える。各校の実践報告を聞き、情報共有することで、それぞれの学校の児童への指導に生かしていくことができた。調べ学習やまとめ、発表の仕方など児童の実態に合わせたより効果的な方法について今後も検討していきたい。

### (2) 中学校部会

SDG sの知識や理解を深めるための取り組みとして、SDGsの事業を展開している企業に講師を依頼した活動や、学校独自で考えた内容の活動、体験活動を通して学ぶ内容などが報告され、どの取り組みも生徒の関心は高く、意欲的な活動となっていた。生徒の普段の生活から取り組める活動や宿泊行事、校外学習などと一緒にやる活動などを模索していき、学校内に留まらず多角的な方面からSDG sに関わるような活動を検討していきたい。